

【別紙】令和元年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立 里中 学校)

(A 4判横)

学校教育目標	真剣に学ぶ生徒 人間性豊かな生徒 心と体を鍛える生徒
目指す学校像	からだを鍛え(やってみよう) 心を磨く(考えてみよう) いつも仲間とともに 夢のある学校

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日は、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者(教職員を除く)	7名
事務局(教職員)	3名

学校自己評価						
領域	年度目標			年度評価(令和2年2月1日現在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
組織運営	<p>○学年主任を核とする学年経営の推進と運営委員による学校運営への参画の強化を図る。</p> <p>□若手教員の情報共有の希薄さによる指導の不徹底と積極的生徒指導の不足</p>	<p>○全教職員が働きがいのある職場と思える一年にする。(校長評価90%以上)</p> <p>□情報はどの職員からも確認できる教職員集団にする。</p>	<p>○相互が相談して校務を進める場の設定をする。</p> <p>○運営委員会での情報交換の時間を確保する。</p> <p>□連絡、相談だけでなく、報告することを意識させる。</p>	<p>○学年主任は働きがいをもって職務に当たってくれた。全教職員の校長評価は、12月末で96.7%であった。</p> <p>□教職員は関係がよく、情報交換の場も多く見られた。校外の方々から「先生方が仲良しですね」と声を掛けられることが多かった。</p>	A	<p>○各主任をリーダーとした運営力の向上と職責の遂行に努める。</p>
教育課程	<p>○校内研修テーマが研究授業時に活用している傾向があった。全教育活動の中で取り組むことにより、一年間、一貫性のある指導をできる様にする必要がある。</p>	<p>○主体的に判断できる力の育成に向け、全教科を通して取り組む。(学校自己評価80%以上)</p>	<p>○学力向上プランを繰り返し確認、見直しを教科会で行う。</p> <p>○授業研究では、研究テーマの取り組みを示す。</p> <p>○移行期間の内容の確実な履修を行う。</p>	<p>○計画的な教科会の実施により、取り組みの進捗状況等確認しながら行うことで意識の高揚を図ってきた。学校自己評価では88%の教職員ができたと回答。</p>	A	<p>○校内研修テーマを主体的に行動できる力の育成とし、今年度伸ばした力を更に成長させる。</p>
開かれた学校づくり	<p>○小中連携事業の見直しと改善を積極的に行い、「地域の学校で学ぶ」という安心感を児童生徒、保護者に浸透させていく必要がある。</p>	<p>○小中の指導の役割を教職員がしっかり受け止め、実践する意識を高める。</p>	<p>○自治会集会をテーマを以て運営する。</p> <p>○小中の教職員の年度始まるの情報交換研修会を実施する。</p> <p>○地域の小・高の管理職に学校評議員を依頼する。</p>	<p>○小中連携の担当者会議を定期的に開催でき、校種間の相違を解決につなげた。また、中高連携については、改善案を生かしながら取り組むことができた。連携の取り組みについては、連携の目的に達しないこともあり課題が残った。</p>	B	<p>○自治会集会については、今年度の準備を更に発展させ、実施の方向で進める。</p> <p>○小中、中高連携については、担当者間の連絡、相談を密に行い、連携の目的達成を目指す。</p>
教職員の資質向上	<p>○できる・わかる授業づくりのための効果のある教材研究に励む。</p> <p>□コミュニケーション力の向上を図り里中学校のチーム力を向上させる。</p>	<p>○わかりやすく・理解しやすい授業の工夫に努めている。(保護者H30, 71.1%→H31, 80%、生徒H30, 90.4→H31, 92%)</p> <p>□一人一人のコミュニケーション力の向上を図り里中学校のチーム力の向上</p>	<p>○積極的な教室訪問の実施</p> <p>○計画的な要請訪問の実施</p> <p>□経験値に見合った研修会への参加</p> <p>□会議、研修等でのアイスブレイクや協議時間の確保</p>	<p>○学校評価では、「わかりやすく・理解しやすい授業の工夫に努めている」の項目では、保護者78%、生徒92%であった。</p> <p>□チーム力については、様々な指導に単独で悩む場面は見られない。学年会や打合せを開く声掛けが多かった。</p>	B	<p>○授業力向上については、更なる研修が必要である。</p>
施設・設備等の管理	<p>○学習環境の整備に努める。</p> <p>□用具の扱いについて指導の徹底が必要である。</p>	<p>○普通教室の環境整備100%に(教室出入ドア、特別教室ドア等)</p> <p>○安全の保証100%に</p> <p>□安全点検、清掃指導を大いに活用し、気づく力を育てる。</p>	<p>○4月の安全点検に重点を置き、修繕計画を立てる。</p> <p>○委員会との連携を図り、業者の専門性を生かした修繕に努める。</p> <p>□教職員の意識改革のために、職員室内の整理整頓を働きかけた。</p>	<p>○ドアの修繕は行った。</p> <p>○安全面の保証はできた。(事故0)</p> <p>□安全管理主任により、安全点検のマンネリ化を防ぎ、また清掃美化担当からの働きかけにより、教職員の意識も高揚できた。</p>	A	<p>○雨漏りなどの大規模修繕や照明のLED化など、教育総務課との連携が重要になってくる。</p>

学校関係者評価	
※実施日	令和2年2月19日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の柱となるものがしっかりしている。 ・問題を起こした時に考えさせられるような題材があるといい。問題が起こった時にどう対処するのか統一したものを示しておくことが大事である。 ・人の気持ちの分かる教育の在り方。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の持ち方、姿勢の悪さなど指導が必要ではないか。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生が小学校や地域に元気を与えている。 ・小中連携では、中学校のリーダーシップが必要なのである。小学校では、期待をしている。 ・地域でも中学生は頼りになるので、大いに活躍してほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・友達感覚で生徒に接している教員がいる。きちんと注意できないのか、それでいいのか考えてほしい。 ・先生方のコミュニケーション力はより高めてほしい。 ・家庭とのコミュニケーションのとり方の変化を感じる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・公立の学校としては十分やってもらっている。 ・雨漏りの跡が汚い。 	